

## オンライン講座を活用した効果的な研修の在り方に関する研究

企画開発室 川崎 洋幸 兵頭 俊二 上岡 公紀  
石崎 有一 山下 太志 泉 富浩

### 1 研究の目的

教員においては、これまでの中教審等で「学び続ける教員像の確立」が求められてきた。しかし、国際調査では、我が国の教員の職能開発に充てる時間が他国に比べて短いことが示されている。また、学校の働き方改革が進められる中、教員として欠かせない職能開発の機会や時間をどのように確保し拡大するかが課題になっている。

本研究では、センターが主管する各種研修にオンライン講座を導入することで、教員の職能開発と学校及び教員の働き方改革に対し、どのような効果をもたらすか検証する。

### 2 研究の内容

#### (1) 先行研究等

文部科学省では、平成13年に大学等を対象に、オンライン授業を実施する際の制度を整備したほか、平成30年には小中高等学校における遠隔学習について、導入ガイドブックを作成している。また、平成31年に全国の都道府県教育センターを対象とした調査では、オンライン研修の導入は全国47都道府県中22か所、そのうち、校外研修と同様の研修として活用しているのは8か所、校外研修の一部として活用しているのが15か所となっている。

#### (2) 職能開発の課題

「OECD国際教員指導環境調査（TALIS）2018」によると、我が国の小中学校の教員の一週間当たりの労働時間は参加国中で最長であるが、職能開発に充てる時間は最短である。職能開発へ参加するに当たって障壁として挙げられていることからは、「職能開発の日程が自分のスケジュールと合わない」が最も高かった。同調査からは、我が国の教員が、職能開発への意欲はありながらも仕事や家庭の都合で研修の機会を失っていることが指摘されている。

#### (3) オンライン研修について

##### ア 種類

リアルタイム型（同期型）とオンデマンド型（非同期型）に大別され、リアルタイム型には双方向でのやり取りが可能か、一方向かの違いもある。

##### イ 研修の実施

オンライン研修の実施に当たって、動画作成の環境整備や所員の研修等を進めた。約170本の動画をオンデマンド型で作成し、集合に代えてオンラインで研修を実施した。必要に応じてリアルタイム型での研修も実施し、講師と受講者間の双方向で協議等を実施した。

#### (4) 研修効果の検証

受講者を対象としたアンケート調査によると、研修動画の内容は理解できたとする回答は受講者の9割以上で得られた。これは集合研修で得られる評価と同程度であった。また、集合研修をオンライン研修にすることについても、前向きな回答を7割以上得た。オンライン研修に適した研修内容等の検討は必要であるが、オンラインでの実施について肯定的に受け止められている。さらに、職能開発の目的で、自由に受講できるオンライン講座を開設した場合、その利用に前向きな回答は9割以上になっており、潜在的な受講ニーズが高いことも分かった。

### 3 研究のまとめ

本研究で導入したオンライン講座は、多くの受講者に受け入れられ、一定の評価を得た。また、所内の環境整備も進み、オンライン研修に対する所員の理解と技術の向上が図られた。次年度は、研修教材作成における研修効果を高めるための工夫・改善策を検討するとともに、自主研修用オンライン講座の提供方法の検討と評価を通して、職能開発や働き方改革におけるオンライン研修の効果を明らかにする。